

アブラナ科

(p37-45)

花弁4で十字状に見える(十字花冠)。普通は4長雄しべ。
ロゼットをもつものが多い。

ハナナ



花はがく片4、花弁4。雄しべは長い4本と短い2本(4長雄しべ)。雌しべ1、心皮2で子房2室

ナスナ



茎は直立、葉は互生 カラシナ



カラシナ

長角果あるいは短角果。
熟すと心皮の縫合線から
果皮が2片に裂開

スカシタゴボウ



ロゼットと根生葉

マメ科

(p50-61)

葉は互生でほとんどが複葉。花は多くが蝶形花冠。
根に根粒がある。

花の分解
カラスノエンドウ



竜骨弁(りゅうこつべん)
(または舟弁: しゅうべん)



雄しべは1本と9本とに合着(2体雄しべ)が多い。雌しべを囲む。心皮は1



カラスノエンドウ



シロツメクサ

マルバヤハズソウ



多くは羽状複葉か3出複葉(まれに掌状複葉)

根粒内の根粒菌は窒素固定の働きをする

蝶形花



カラスノエンドウ



果実は豆果(莢果)



果実は熟すと裂開する

カラスノエンドウ



アカツメクサ